

ぽえ犬くんは語る

僕が国際通貨市場における日本円の高騰(以下、ハイエン/High Yen)について知ったのは、ある朝、かなちゃんから「ハイエンよ!」ってメールをもらって。いやもうびっくりしたなあ。思わずコンビニにハアハアいいながら走っちゃった。ハアハア。紙面には、やっぱり日本経済の行き詰まりについて書かれていて、あおおお〜ん、て吠えたん。道ゆくサラリーマンのおじさん達の顔には「ぽえ犬くんはやっぱり四つ足だなあ」なんて書いてあったけど、気にしないわん。どうするのって? どうしましょう。「ハイエン」のニュースを見たたくさんの人達から、お見舞いや励ましをいっぱいもらいました。ありがとうございます。感激のあおおお〜ん。で、どうしましょう? さいごは人間、やっぱり気合いと根性かど。あ、犬だったっけ。とにかくいろんなことが、今まで以上におもしろくなる予感なのです。ほんとのたたかいは、これからだわん! (編集部注: ぽえ犬くんは、所詮ワン公なので、経済のことはあんまりよくわかっていない模様です)



円高(High Yen)におどろくぽえ犬くん

愛の河

「性格の悪い女や」と言われるとそんな風に指摘する相手の性格次第でにやっと笑えるときと

さらに意地悪をしたくなる時がある

あからさまなことは言わずに、わかりにくい嫌みを行ってさささと向こうへ歩いていってしまつときもある

今夜 あの花は愛の河の方へ歩いていった

足下で夜の虫が 電灯のひかりで ゆうらゆうら発光する

都会の河口から運ばれてくる風は

公園で眠る生活者の乾いた眉毛や頬を撫でる

すべり台の上で 何度も見上げた空に

月がのぼると 月光の誘いで、また愛の河へ歩いていってしまう

あの女は 毎晩 ひとりで 愛の河へ歩いていってしまう

藤宮保男氏の時のなかにでてる「河の馬」という馬は

愛の河で 河原の草を食み ひなたで目を瞑り

ときどき立ったまま眠り

季節の風をしばしばにまきつけて 暮らしているかもしれない

河の馬のしっぽの先にしたたる雨などを感じる

女の髪を 月の光のなかで □にふくむ

正確な味などしない 女の髪は

口のなかで曖昧に

くしゃくしゃと音をたてる

時間の長さでいえば むしろ

その曖昧さに正確さがないから

一秒なのか 一分なのか

季節のかけぬけたあとのように

わたしにはわからない

ただ 性格の悪い女や と指摘したあとの

女の 唇を三日月のようにして笑う女の

髪に巻きつけた指先が

近づいてくる時間よりもはやく

川面をはねる魚の鱗のように しばやく

月が 正確に傾く

勝手に CoCooRoom cafe

注文ランキング!!

- オ1位 プロテイン系のプリン... 300円
- オ2位 日替り まかない ... 600円
- オ3位 ビール ... 500円
- オ4位 ホットコーヒー ... 300円
- オ5位 マンゴーゼース (35%) ... 300円
- オ6位 焼酎おひ割り(芋もろもろ) ... 500円
- オ7位 かわきもの ... 200円
- オ8位 なんか食べれるもん無い?... 時価
- オ9位 「駐車場はどこですか?... 3階へ
- オ10位 おひるね ... 300円

他にも色々ありますよ。(コサキ編へ)

cocoroom

びよんびよん 通貨発行!

不況だって、無職だって、ココロはびよんびよん!

cocoroom cafeや事務局をお手伝いしてくれたら「びよんびよん通貨」を発行。cocoroom主催の催しをびよんびよん通貨で鑑賞いただけます。

*詳しくは、cocoroomスタッフまで

COCOROOM

ゆったりとまかない料理を味わおうよし、ちびちび自家製通に酔おうよし、仕事からしそジュースを飲むよし、盛大にパーチーなんか開くもよし

自由気ままな使い方、望むところ。

みんなで、COCOROOMはYAHOO!BBモバイルゾーン!!

まかないTIME 12:30~14:30 19:00~22:00

OPEN 12:00 ~ 23:00 (不定休)

むかしむかしあるところに、誰も信じられなくなった王様がいました。
王様は妃すら信じられず、次々と妃を娶っては、殺してしまうのです。
それを見かねた大臣の娘シェラザード姫が自ら王様の元へ出向きました。
その夜、姫は、王様におとぎ話を語りはじめます。
物語が佳境に入ると「この続きはまた明日」。
続きが聞きたくてたまらない王様は、もう一日、姫を生かしておくことにしました。
そしてシェラザード姫は、来る夜も来る夜も、王様に物語をきかせ、
語ることで生き延び、生き延びるためにまた語りつづけた。
アリババと40人の盗賊、シンドバットの冒険、魔法のランプ、
まだまだお話はつきることがありません。
シェラザード姫は、千と一夜にかけて不思議で面白いお話を聞かせながら、
かたくなな王様の心を少しずつかしていくのでした。

物語はつづいてゆく。
生きるためのことばをさがして。
声が明日のページをめくってゆく。

春からスタートする新企画、Books Archivesは、いいむろなおき/上田假奈代の「illusions」に端を発する。忙しい2人は稽古の時間がとれず、上田が「illusions」の朗読を録音した。その音源は、おもしろく、シンプルで、美しかった。このスタイルで連続形式の朗読会を開くことができないか。同時にライブ録音した音源を視覚障害者や多くの人達に楽しんでもらうことはできないか。はじめ、ある南米文学者の小説が候補にあがったが、著作権の問題で諦めざるを得なかった。しかし、上田が選んだ「吹雪の星の子どもたち」は作者の山口泉さんから快い返事がもらうことができた。ファンタジーのようであり、哲学書のようなこの不思議な物語を上田は、ずっと愛読していたのだという。Books Archivesの企画書が発端として、作者の山口泉さんとの間で何度もメールのやりとりがなされた。「著者として、この連続朗読会が一つの協同作業という意味を持つことを願っています」と書かれた山口泉さんからのことばは、もう一度、この企画の意味を問いなおすきっかけとなった。上田は言った、「生硬でもいい、若い人達の新しい作品を読みたい。それが生きることをさがすことになると思う」と。企画はいくつかの軌道修正を経た今、新人作家の発掘が目的なのだ、気付くに至った。Books Archivesはささやかであるが、つづけるには根気と努力がいる企画だ。現代に語り部がいるとしたら、やはり、生きるためのことばを探していくのだろう。

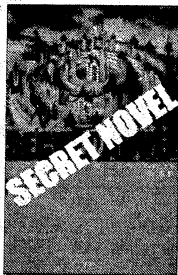
Books Archives

声が明日のページをめくってゆく

第1夜 4月5日(月) 20:30start

入場無料(drink1オーダー)

以後、毎週月曜日に開催予定



■予定作品

- a. 「吹雪の星の子どもたち」山口泉著 (径書房刊/1984)
- b. 若手新人による書き下ろし作品
- c. 美術作品、雑誌、日記、静物などの世界を構成するマテリアルの定点リーディング
- d. SECRET NOVEL ～20世紀文学の最高峰～

■読み手

上田假奈代 (こえとことばの革命家)

Won Jiksoo (現代音楽家/ヴォイスパフォーマンス)

1. Books Archivesは、ライブ録音を同時に実施します。本事業はnon-profit (非営利)を原則とし、音源をcocoroomの声とことばの資料としてアーカイブ保存。視覚障害をお持ちの方などの普段現代文学に触れる機会が少ない方々も気軽にご利用いただけます。
2. Books Archivesは、新人作家発掘と育成を通じて、市民文化へ貢献できることを目標とします。
3. Books Archives実行委員会では本企画にご賛同いただける方の寄付を募っております。

■東京三菱銀行 阿倍野橋支店 普通 0914916 イジマヒデシ

やばいやばいとささやかれていたけど、本当にフェス会場が決定した。たしかに休みの日でもさお世帯にも関わっているとはいえない状態、廃園の知らせにも「やっばり」というのが正直なところ。cocoroomはこれからどうなるの?さっぱり判らないけど、今日も相変わらずcocoは忙しい。ふと気付いたらオープン当初からは比較にならないくらいイベントが入っている。廃園でもなんでも、おもしろい場所には人は集まる。詩の朗読会、音楽ライブ、芝居公演、公開稽古、レコーディング、上演会、井戸端会議から堅い会議まで、勉強会、着付け教室、などなど。オープンフリースペースカオスcocoroom!こんなにもいろんな人達が遊びに来るのなら壁面も一緒に遊んでしまおう!という訳で3月からギャラリーとしてもつかえるように。その名も「Chimes～prick up your ears～」(チャイム達～耳を澄ます～)今やcocoの名物となっているP.P.P.C.B.Nの兄妹企画平面版!(拍手!)

ギャラリーって日常的に行くことありますか?私はあまり行かないです。たまに行ったり個展をしたりしておもうのは「人が来ないな～」ってこと。(作品が問題?)たしかにギャラリーは入りにくい。さらに存在がわかりにくい。だけど、箱のなかでおこっている素敵な事を知らないだけで、本当は興味のある人がたくさんいるはず!そんな普段はギャラリーに足を踏み入れた事のない人達を「Chimes」に巻き込んでゆきたい。例えば大好きなバンドのライブを聴きにきた人。例えばcafeプリンを食べに来た人。例えばワークショップに参加しに来た人。例えばイベントの出演者。そのスタッフ。そしてそんな人達に「Chimes」も巻き込まれた。だから「Chimes」はイベントの時も常時作品を展示します。どんな表現方法をとっても根っこにあるものはみんな同じなんじゃないかしら?こころのアンテナがピンと立っている人ならきっと感じるはず。

cocoroomで耳を澄ましてみてください。

せんそうってなに?

5/1～30
似顔画家さん展
ジャック美原

2004

■よく働く人魚姫の物語 / 上田假奈代

地下鉄の駅に向かって歩きながら、人魚姫はいつも歩く道端の公園の木々をみあげてもうすぐ春もやってくるのだろうと、鼻の奥で感じる。
朝から、こどもたちを大声で起こし、鼻をかませ、朝ご飯を食べさせ、服を着替えさせて、保育園のバスに乗せて手をふる。洗濯物を干し、コーヒーを飲むと手早く化粧をして、靴と携帯電話をもって出かけたいつもの朝に、かすかな春のにおいがする。

季節はいつも風によってやってくる。
風は行きすぎたり戻ったりしながら、木々の葉の色を変える。
いつしか風がやむと、木の下で人魚姫はひとり取り残されたように感じる。

一冊の本のページを風がはらはらとめくる。
葉をさみ忘れたために、季節はうつろい、物語に取り残されたように悲しくなるのだ。

わたしの物語に忘れられてしまったのは、いつのことだろう、
と人魚姫は木の枝の先の空をみあげる。雲のすきまから、かすかな青がみえる。

もう何年も前から、すれちがう人たちは人魚姫をみても驚かなくなつて、
人魚姫も自分が人魚姫であることを忘れていくことのほうが多かった。

平凡な人魚姫になることは、そう難しいことではないし、
むしろその方が問題の数は減る。
そのためには、人魚姫でないことを演じるのではなく、
人魚姫のままこの世の中で普通に暮らすことで充分、
平凡な人魚姫の日常は達成できる。
その普通加減の会得が、人魚姫という種族にとっては難しいことなのだそうだ。

すこし普通にやりすぎたかもしれない、と思われて人魚姫の歩く速度が落ちたその時、
目の前を、散歩する犬が首輪の鈴を鳴らして横切つて、
その普通さ加減を決めるのは自分だからね、と言う。
何食わぬ顔でしっぽを振り、犬は横断歩道を渡っていく。

よく働く人魚姫は、今日も仕事にでかけていく。
地下鉄を乗り継ぎ環状線に乗って、通天閣を窓にみて、
今日もよく働く人魚姫は海の底のような空をみあげる。

於集電腦女流詩人
交流向上百花繚乱
詩的空間月毎更新
隨時求新同胞以愛

蘭

Web 女流詩人の蘭の会

<http://www.osrim.or.jp/~orchid/>

poenique

<http://poenique.jp/>

日本最大級の総合詩サイト 詩の寄り添う場所。

第2部 かのこきのご～空を泳ぐように～その三

前回まで：視覚障害者施設・ライトハウスでのワークショップで出会ったかのこさん。

cocoroomで個展をひらくことになりみんな大慌て。まわりを巻き込み、巻き込まれ…。



2003年7月、かのこきのご展オープンの朝を迎えた。かのこさんの絵手紙が額に装丁されcocoroomの壁を飾っている。それらは、remoのキュレーター雨森さんと美術ライターの山下さんなどの意見を参考にして、上田假奈代がうんうん言いながら、やっとのことで運んだ14枚。額は服部(現川崎)まみちが茨木市の額縁屋さんまで足を運んで、つくってもらったもの。カフェのテーブルの上には、かのこさんの立体作品がさりげなく飾られているのだが、その化粧台は、上田の母親の味左子さんが用意してくれた吉野杉の切り株をつかったものだ。きれいに並べられているかのこさんの作品は、なんだかおめかししているみたい。

cocoroomのステージ上には、巨大な模造紙のパネルがあり、会期中をつかっていたかのこさんが、大きな作品を描いていくことに。視野に限界のあるかのこさんであるが、かのこさんにしか描けない世界があるのではないかと。まだ何かをとらえきれないと感じたのか、上田は入り口の陳列ケースを膨大な量の絵手紙で埋めつくした。そこには、かのこさんがこつこつと絵手紙を描き続けていた日々の営みがあった。かのこさんの絵手紙の先生からは、まねきねことお祝いのごとをあしらった絵がといて、手作りだけど、素朴で、なんだか楽しい会場に仕上がったのは、かのこさんの人柄なのだろう。準備に足しげくcocoroomまで通ったかのこさん。そして、ご家族やライトハウスやcocoroomのスタッフの気持ちの入った仕事の結果だった。それでも、私はまだひやひやしていた。準備期間の短さから、宣伝がうまくいっていないのではないかと。オープニングパーティもあるのに、誰も来なかったらどうしよう。ひやひやしながら、かのこきのご展がはじまった。(つづく)

もーれちゅ!マウス絵道場!

～時のオーケストラサイト共同企画～
http://www.kanayo-net.com/si_oke/
マウスで描いてみよう♪jpgで送ってね
→まうず絵師範 ezman@nifty.com



かなよ

新世界に来てからというもの
こーゆー顔の人によくであうようになったよね。

「もう少し。」

木村トモコ

サブブというフリーペーパーでコクルームのボランティアスタッフ募集の記事を見つけた衝動的に応募のメールを送り、何が何だかわからないままコクルームに身を寄せるようになって早や4ヶ月。正直なところ、なぜ私がコクルームにいるのか今でも謎だ。コクルームを初めて訪ねた日、心の中でつぶやいた私の第一声は「あっ、来るとこまちがえた。」だったのだ。が、もともとの深く考えない私は、ま、いっか、と瞬間的に流した。そのままやはり深く考えることはなく、「来るとこまちがえた」気持ちは据え置きのまま、だらだらと今日にいたっている。あまりにだらだらと持ち越されたままなのでもうどうでもよくなっている。今となっては「来るとこまちがえ」てもコクルームが私の居場所ではなくてもどうでもいいのである。そんなことは、自分が楽しければいいのである。そう自分が楽しければ。

でも、私は気の弱いところからついついガンバっちゃう時あるんだよねー。ダメだなあー。ガンバっちゃうっていうのは「逃げ」なんだよねー。自分の限界を知らないから、どこまでもわかりやすい方向に行っちゃうんだよねー。ガンバらないためには自分のスタイルと呼吸を熟知するためのデリケートさがあるんだよねー。自分と向き合うことを怠っている人間だけがたまたまやみくもにガンバっちゃうんだよねー?自分のことをわかってない人間だけが猪突猛進しちゃうんだよねー。

ガンバった挙げ句、思考の狭小路に追いつめられて自分の居場所を自らなくしている。不安をおおい隠すために「自分が楽しければいいのである。」とリピートしてみるが、実際は「楽しさ」とは正反対の方向に向かっている。自分の呼吸を止めているのは自分。「来るとこまちがえた」という自意識は思考停止ポイントだ。分別をわきまえた時から円環は閉じられてゆく。他者を必要としない「楽しさ」はグルグルと同じ場所を回るだけでどこにも流れだしていかない。

私がこうしてコクルームにいるのはそういった「ムダな力の抜き方」を会得するためのものかもしれない。どこにも力を入れずに生きられるようになるまで、あとどのくらいかかるんだろ。「力を入れすぎる」ことによって起きてくる失敗をあと何回経験すればいいんだろ。「自分が楽しければいいのである」という言葉が現実の自分と一致するまであとどのくらいこの言葉をつぶやけばいいんだろ。

「友よ、また違おう」という本の中で坂本龍一から村上龍にあてたこんな一文がある。「ますます自分の中を希薄にさせて、どんな異物でも入りこんできやすい状態に保つことが快感だ。わかるだろう。龍。僕は自分自身に固執することなんかこれっぽっちも興味ないんだ。風に吹かれて地球のどこかに吹き飛ばされても平気で生きていられるようになるまで、もう少し。」

もう少し、もう少し。

吹雪の星の子どもたち

山口泉 著 笹書房 ¥2300
世界にみつけれたいあなたへ：★★★★

序詞

生きる という言葉をつかわずに生き
愛する という言葉をつかわずに愛し
そして
そこに姿を映されるために、世界が
存在しているような
そんな、歌う宝石のかけら となること



頁をめくると、この詩。もう、目を閉じて、この本の厚みを指で触って、ただそこをあずけてしまおう。少年少女の一夜夜が繊細な糸のような描写で綴られた物語の舞台は吹雪の星。魔法も度量衡も貨幣単位も地球とは違うこの星のことわざは「飛ぶことができるのは、重いものだけ。」まだわたしが高校生だった頃、東京のちいさな出版社の本棚から社長自らが、なぜかわたしにプレゼントしてくれた一冊。今ではこの書籍は絶版になり、本屋では手に入れることができない。コクルームのライブラリにあるので、通って読んでいただきたい。

この続きは、僕と喋ろう

谷垣翼行

僕が占いと出会ったのは、アルバイト先で知り合った同僚の母親が占い師だった為である。しかし、四年前から話は聞いていたのに、占ってもらいたい事が特には無く。ちいっとも足が向かなかった。それが、占い師になってみようと考えたのは、音楽活動を休止し、時間が出来たからだ。強い好奇心が働き、占い師を体験してみたいと思った。その同僚からいろいろと話を聞いていたが、地図片手に到着した所はごく普通のマンションだった。

オートロックのインターフォンで挨拶をし、階をあげると、おばさんは扉を開き、出迎えてくれた。すぐに中へ案内されたが、占い師の家です!といった類の物は無く、TVには「ちんぷいぷい」が付いていた。

「まあまあ。」と言われ、コーヒーを頂く。

出された机のコーヒーの隣に、ねんきの入った数冊の本が目に入る。

おばさんは眼鏡を掛け、何を知りたいの?と言った面持ちで僕の生年月日と名前を尋ねた。僕には名前という、他人が僕を識別する記号を持っているが、それだけで、宇宙に顔を出した瞬間からの何がわかるというのか?まずは疑いの目で、書き起こしているおばさんの、鉛筆を握った手に目を落とす。焦点の合った場所は、紙の上で名前の回りに飛び出している数字。数字。数字。名前は複雑な計算式の一部になっている。「あー そー」といながら書物をめくるおばさんの目の前には僕の生き様が映し出されているようだ。間髪には何が書かれているのか?気にしながらも尋ねる事が出来ない僕を見透かした顔のおばさんは、「TVは消すね。」と言った。

僕は株というものに興味を持っていて、理解しているとは言えないがそれなりに楽しんでいる。株には経済の動きに連動したチャートと呼ばれる物がある。経済と言う目に見えぬ物の中で、会社という生命体の浮き沈みを、グラフにした物だ。僕が貰った占い結果の紙を見ていると、すごく似ていると感じた。

毎日、毎日が良い日から悪い日まで、何段階かに別れていて、それが月ごとの流れもあり、年ごとの流れ、人生の流れと、別々の動きをしながら、大きな流れに汲み取られて行く。おばさんの口からも、意には変わらない。次の場所へはじょじょに向かっているのだ。と聞かされた。少し僕の事を話すと、占い師に何でならんでええ。それより今年が良い年やし人生くって行った方がええで、と言う。そうですか、と僕は答える。ええんちゃうかなあ?私はそう思うよー、とおばさんは続け、話は二時間半に及ぶ。

運命の数値化は、大昔より進化をしたデジタルな姿。一時代を築きブレイクしたであろうことを思わせる。おばさんのくれた数字の書いた紙はデジタルに保存。僕と話してくれた時間はアナログな頭脳へ。そして、やがて無くなる。人間の目という機能制限をうけた世界で見えるもの。見えないもの。感じれる物、そうでないもの。匂い。臭い。ニオイ。匂い。すべてを把握することなど到底無理な話だ。判ってはいるが、それでも追い求め、掘めはしないかと考える。何層もの世界が同時に進み絡み合う、考えの及ばぬ事であふれた毎日。ある意味考えても仕方ない。

同時には聞こえないB面に耳を澄まし、自分だけのタイミングを測るモノサシ。

占いは僕の新しい道具となった。

today's 8/365

「大きくなって、好きだから、着てるのね。」

採取日時:2004年2月22日(日) 15:35
採取場所:京都市上京区西陣ファクトリー-garden

椅子をのぼると、ちいさな女の子にであった。
「どうして着物着てるの?」「好きだからよ、あなたも着物好き?」
すると返事がかえってきた。「うん、好き。大きくなって、好きだから、着てるのね。」

詠唱日本国憲法 ぼくたちはひなまるである

3/14(日)17:30open 19:00start / ¥1500+1d
 上田假奈代(詠唱)、ウォン・ジクス(詠唱)、ひなまるバンド
 produced by ZEIROKU FACTORY with cocoroom

今橋愛歌集「O脚の膝」を語る会

第1回北浜短歌賞受賞 今橋愛を囲んで
 3/20(土・祝)15:00start / ¥2000

異端抄〜機械仕掛けのエロス〜

3/21(日)15:30start 16:00start 前売: ¥2500 / 当日: ¥2800(ともに+1d)
 講師: 坂田登 / 企画: 大黒堂ミロ
 チケット取り扱い: Bar MIXROOM(06-6311-3657)、cocoroom
 INFO: mlro@mixroom.com / tel.090-1717-3641

70's FOREVER vol.2

3/26(金)19:00start 自慢代金: ¥1,000(1drink付)
 世話人: 吉本田中とZEIROKU奥村

楽天楼公演「ゆりかごゆられて。」

■4/9(金)19:00〜 ■4/10(土)15:00〜/19:00〜 ■4/11(日)13:00〜/17:00〜
 前売: ¥8000 / 当日: ¥1000(ともに+1d)
 脚本: 在業なつめ 演出: 田辺亜澄
 出演: 石川雅羅(極東喫茶)、大河内廣弘(劇団そとこまち)、サリng助教授(劇団突劇金魚)、
 守行孝洋(ホネつき数珠S)、泉寛介(白黒企画)、田辺亜澄

関連情報

■2004春・上田假奈代 東京ツアー

3/27(土)「第一回心太祭り」19:00〜 前売¥2200 / 当日¥2500(1d付)
 出演: マブリ、上田假奈代+あぶらなぶり、mue、森象
 会場: 下北沢ARTIST / 東京都世田谷区北沢3-25-1シャルヒエ2F
 TEL: 03-5478-9989 / http://www.o-artist.com/SubPages/artist_shop.html
 INF: morizou2000@hotmail.com

3/28(日)「どうして男と女は1000年前からいつもそうなの。婚嫁日記」19:30〜
 料金: 投げ銭 / 出演: ワタナシシゴ+上田假奈代+あぶらなぶり
 会場: cafeMURIWUI / 東京都世田谷区祖師谷4-1-22-3F
 TEL: 03-5429-2033 / http://www.ne.jp/asahi/cafemuriwui/
 INF: morizou2000@hotmail.com

3/30(火)「The DOORS Live」19:00〜 前売¥2500 / 当日¥2700(+1d)
 出演: 上田假奈代+あぶらなぶり+ワタナシシゴ
 会場: LIVE-BAR The DOORS / 東京都世田谷区渋谷本町1-2-1 Enomoto Bld.B1
 TEL: 03-5350-580

■詩の学校

3/3・17・4/7・21・5/21・26・6/9・23 以降もつづきます すべて水曜 19:30〜 / ¥1000
 講師: 上田假奈代
 應典院 / http://www.outenin.com / 大阪市天王寺区下寺町1-1-27 / TEL: 06-6771-7641

■声とことばのワークショップ

3/6・4/17・5/12・26・6/9・23 すべて土曜 13:30〜 free
 講師: 上田假奈代、飯島秀司
 視覚障害者リハビリセンターライトハウス / 大阪市鶴見区今津中2-4-37

Cocoroomでは、寄付をつのっています。

運営のための寄付をつのっています。ご寄付いただいた方には、お名前を「ぼえ犬通信」に掲載させていただきます。5000円/1口 何口でも結構です。

郵便振替 記号01090-5-48059 三井住友銀行 船場支店 普通 2140440
 cocoroom代表 ウエダカナヨ cocoroom代表 ウエダカナヨ
 東京ボエケットさま、さな。さま、宮前のみさま、中島聖治さま、田中乗子さまより寄付をいただきました。
 ありがとうございました。

Books Archives

〜言葉の決楽 幻想の千夜一夜〜

声が明日のページをめくってゆく

- a. 「吹雪の星の子どもたち」山口素著(怪書房刊1984)
- b. 若手新人による書き下ろし作品
- c. 美術作品、日記、静物など世界を構成するマテリアルの定点リーディング
- d. SECRET NOVEL 〜20世紀文学の最高峰〜

読み手: 上田假奈代(こえとことばの革命家)、Won Jiksoo(現代音楽家/ヴォイス/パフォーマンス)
 日程: 4/5(月)、4/12(月)、4/19(月)、4/26(木)、5/10(月)、5/17(月)、5/24(月)、5/31(月)、
 6/7(月)、6/14(月)、6/21(月)、6/28(月)、7/20(火)、8/2(月)、8/9(月)、8/16(月)、
 8/23(月)、8/30(月)、9/6(月)、9/13(月)、9/21(火)、9/27(月)、
 20:00open 20:30start free(+1d)

P.P.P.P.C.B.N

18:30open 19:00start ¥1500+1d

- 3/9(火) 杉浦真(関西最後の紙芝居師)、岸昆虫(ダンス)、勝野タカシ(ギター、唄)
 難なぶり(ワタナシシゴfrom東京+上田假奈代+あぶらなぶり)
- 3/15(月) tricoli(かわいしのぶ・ホアチョ・水谷紹)、アプリケー・ジョン・エラー(ライブ)、
 PLANET JUICE(エレクトロニカ)、あわ屋、江剛成ほか
- 3/23(火) nova-express+藤堂悠貴子(空間言語結晶化ユニット+サインパフォーマンス)ほか
- 4/4(日) Enfance Finie(花嫁殺人事件)ほか
- 4/6(火)、4/20(火) 出演者募集中

P.P.P.P Scenery / 風景vol.1

3/19(金) Scenery/風景vol.1 イファ&Traditional Speechプロデュース
 イファ、nein titel female、エスエフ・ソロウズトリオ、connect to your mindscape

P.P.P.P.C.B.N.W

3/27(土) 阿佐田巨(大和川レコード)プロデュースによる一夜
 カルナカトゥーム(演劇的唄物)、細路文学(チェロとギターのアンサンブル)
 西森光枝(お呼ばれ女優リターンズ)

P.P.P.P.C.B.N. パトルロワイヤル「こっぼんマイノリティまつり」cocoroom一周年記念

4月29日(木祝)、4月30日(金)、5月1日(土)、5月2日(日)
 5月3日(月祝)、5月4日(火祝)、5月5日(水祝)

CHIMES pickupyourcass

12:00〜22:00 入場無料

P.P.P.P.C.B.Nの兄妹企画平面版

- 3/2(火)〜29(月) 写真展「新世界視線」/IMI写真表現大生のカメラがとらえた新世界の表情
- 4/1(木)〜28(水) ログアウト〜部屋から抜け出して〜 / 詩の展示会 主催:ぼえむの部屋
- 5/1(土)〜30(月) 似顔家(にがおか)さん展 / シャック三原

ぼえ茶会

3/12(金)19:00open 20:00start
 vol.14「借り物清算会」〜こころの荷物を軽くしよう〜
 講師: 上田假奈代、小崎泰嗣
 前売: ¥1300 / 当日: ¥1500 / 中高生: ¥1000 すべて+1d

4/15(木)・18(金)18:30open 19:00start
 vol.15「野原を食べるかい」〜野草料理+詩の朗読〜
 要予約 ¥2,500(野草料理と野原のお酒つき)*15名限定
 料理人: 上田味左子(野草料理研究家、詩人、母) / 案内人: 上田假奈代(詩人、娘)

コンテンポラリーダンスin新世界

3/2(火)〜31(月)写真展「新世界視線」12:00〜22:00
 3/7(日)13:00〜沖繩エイサー古武道太鼓集団「風之舞」(from糸満) 投げ銭制
 19:00〜新世界次元live〜写真とダンスと声 ¥500
 出演: 上田假奈代(声)、清水啓司(ダンス)、飯島秀司(ピアノ)
 INFO: DANCE BOX tel.06-6646-1120 / cocoroom tel.06-6636-1662

編集後記: 一秒先は開。まったく!人生なにが起るかわからない。楽しいハプニングもそうでないハプニングも。同じ時は二度とないのだから、その瞬間、瞬間を楽しんだほうがいいと思わない?(まみち)



zip556-0002 大阪市浪速区恵美須東3-4-36
 フェスティバルゲート4F
 tel&fax. 06-6636-1662 tel.06-6636-1612
 http://www.kanayo-net.com/cocoroom/
 ※地下鉄御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」5番出口直結
 ※大阪市営バス「地下鉄動物園前停留所」すぐ
 ※JR 環状線・関西線「新今宮駅」下車 徒歩すぐ
 ※南海電鉄本線・高野線「新今宮駅」下車 徒歩5分
 ※阪堺電軌鉄道「南園町駅」下車 徒歩すぐ
 ※駐車場(有料) 営業時間10:00〜23:00/60分800円
 ■新世界アーツパーク http://www.sap-s.jp

COCOROOMをいっぱい活用ください
 パーティー会場で、笑いとお金を放つ面白料理をお届けすることもできます。大工仕事、看板作りもお手のもの。
 担当: 何でもアーティスト料理人・フティング習
 COCOROOMを使って、催しを行い方。いろいろ協力します。まずは、おはなしにきてください。1日基本管理料: 20,000円

スタッフ求む!!
 COCOROOMでは、意志のあるスタッフを募集中。生きる技術を磨きたい方は、罪をたたいてください。
 内職的ボランティアも募集中
 なぜか、折ったり、貼ったり、切ったりの多い仕事です。退屈に殺されるよりマシ、と思ったら来てください。